

企業誘致の促進や新たな漁法の導入による生産量の増大

バージョンアップ 取組の方向性

- イワシ活餌確保のための土佐湾への火光利用まき網の導入
- 定置網への企業誘致に向けた未利用漁場に関する情報の発信
- 養殖業への企業誘致の推進及び既存業者への人工種苗の活用促進

県内のイワシ活餌

【現状・課題】

- 佐賀では他県から買入れ
- 宿毛湾ではまき網による採捕、供給
- その他中央部では定置による採捕、供給
- イワシ類を大量に採捕できるまき網漁業が宿毛湾に限られている
- 県内の活餌供給は不安定

【目指す方向性】

- 活餌の安定供給のため、土佐湾へ火光利用まき網漁業を導入
- 宿毛湾で技術が確立されたまき網での活餌採捕を土佐湾に導入し、活餌のさらなる安定確保を図る

定置網漁業

【現状・課題】

- 免許件数の減少とともに、生産量も減少
- 操業の再開には多額の初期投資が必要

【新規参入の動向】

- 足摺(H25)、伊田(H29)では、県の支援事業を活用し事業承継

魚類養殖業

【現状・課題】

- 県中央部では、経営体の減少により空き漁場が増加
- 新規参入には多額の初期投資が必要
- 新規参入を拒否する事例も見られる

【新規参入の動向】

- 企業が県の支援事業を活用し新規参入(H29)

イワシ活餌の安定供給

目指す方向性

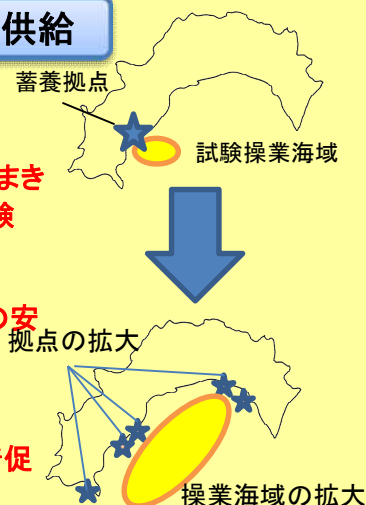
・土佐湾での火光利用まき網による活餌採捕試験(H31~H32)



・漁協自営による活餌の安定供給体制の確立(H33~H34)



・地域漁業としての定着促進(H35~)



取組内容

【H31年度~H32年度】

- 海区漁業調整委員会での取扱方針の決定
- 試験操業の実施

【新】イワシ活餌安定供給促進事業(委託事業)

- * 委託先: 高知県漁協
- * 内容: 火光利用まき網による活餌採捕試験
- * アドバイザーの招聘による技術支援

【H33年度~H34】

- 活餌採捕、蓄養技術の向上
- 短期許可による定着促進

【目指すべき姿(H35以降)】

- まき網によるイワシ活餌採捕の定着
- 活餌の安定供給によるカツオ水揚げの促進
- 操業隻数、区域、イワシ蓄養拠点の拡大

定置網漁業

目指す方向性

- ・未利用漁場の利用促進
- ・企業誘致のための情報発信



取組内容

【H30年度】

【新】定置漁業調査等委託事業(9月補正)

【H31年度】

- 候補地への企業誘致活動の展開
- 漁業権の免許

魚類養殖業

目指す方向性

- ・新規参入に向けた地元調整
- ・既存漁場の利用促進



取組内容

【H31年度】

【新】新規参入に向けた関係漁業者の意識醸成のための協議の実施

- 県中央部でのブリ人工種苗中間育成やクロマグロ養殖試験に対する支援を継続(H30~)
- 民間企業などの新規参入や規模拡大に対する支援